

文14 宇津の山にいたりて、<sup>①</sup>わが入  
ら<sup>②</sup>むとする道は<sup>③</sup>いと<sup>④</sup>暗う<sup>⑤</sup>  
細きに、<sup>⑥</sup>蔦・楓は茂り、もの心  
細く、<sup>⑦</sup>すずろなる目を見るこ  
とと<sup>⑧</sup>思ふに、<sup>⑧</sup>修行者会ひた  
り。

問一 傍線部⑦「思ふ」まで男（主  
人公）の視点で語られている。

（一）傍線部①は誰を指す？

ア語り手 イ男（主人公） ウ修行者

（二）傍線部⑦の主語は？

ア語り手 イ男（主人公） ウ修行者

問二 傍線部②は次のどちら？

ア意志（しよう）  
イ推量（だろう）

問三 傍線部③の訳は？

アわずかに イある程度 ウとても

文14 宇津の山にいたりて、<sup>①</sup>わが入  
ら<sup>②</sup>むとする道は<sup>③</sup>いと<sup>④</sup>暗う<sup>⑤</sup>  
細きに、<sup>⑥</sup>蔦・楓は茂り、もの心  
細く、<sup>⑦</sup>すずろなる目を見るこ  
とと<sup>⑧</sup>思ふに、<sup>⑧</sup>修行者会ひた  
り。

#### 問四 傍線部④について

(一) 終止形にすると「暗し」になる。  
品詞は？

ア動詞    イ形容詞    ウ形容動詞  
エ助動詞

(二) 形容詞の連用形の「く」は  
「う」に変わってしまう場合が  
ある。このように言いやすい方  
向に音が変化することを音便と  
呼び、「う」に変わってしまう  
場合はウ音便と呼ぶ。

ウ音便の例

高く↓高う

うれしく↓うれしう

傍線部④もウ音便だ。通常の形  
に直すと次のどれ？

文14 宇津の山にいたりて、<sup>①</sup>わが入  
ら<sup>②</sup>むとする道は<sup>③</sup>いと<sup>④</sup>暗う<sup>⑤</sup>  
細きに、<sup>⑥</sup>蔦・楓は茂り、もの心  
細く、<sup>⑦</sup>すずろなる目を見るこ  
とと<sup>⑧</sup>思ふに、<sup>⑧</sup>修行者会ひた  
り。

## 問五 傍線部⑤について

(一)終止形にすると「細し」になる。  
活用の種類は？

ア 四段 イ 上二段 ウ 下二段  
エ 上二段 オ 下二段 カク活用  
キシク活用 クナリ活用  
ケタリ活用

(2)ここでは何形になっているか。

ア未然 イ連用 ウ終止 エ連体  
オ已然 カ命令

## ※ク活用の活用表

く	く	し	き	けれ	かれ
から	かり	かる			

文14 宇津の山にいたりて、<sup>①</sup>わが入  
ら<sup>②</sup>むとする道は<sup>③</sup>いと<sup>④</sup>暗う<sup>⑤</sup>  
細きに、<sup>⑥</sup>蔦・楓は茂り、もの心  
細く、<sup>⑦</sup>すすろなる目を見るこ  
とと<sup>⑧</sup>思ふに、<sup>⑨</sup>修行者会ひた  
り。

問六 傍線部⑥は「思いがけない」  
という意味を表す語で、終止  
形は「すすろなり」になる。  
この語の品詞は？

ア動詞    イ形容詞    ウ形容動詞  
エ助動詞

文14 宇津の山にいたりて、<sup>①</sup>わが入  
ら<sup>②</sup>むとする道は<sup>③</sup>いと<sup>④</sup>暗う<sup>⑤</sup>  
細きに、<sup>⑥</sup>蔦・楓は茂り、もの心  
細く、<sup>⑦</sup>すずろなる目を見るこ  
とと<sup>⑧</sup>思ふに、<sup>⑧</sup>修行者会ひた  
り。

## 問七 傍線部⑧について

(一) 傍線部⑧から主語が変わる。誰  
が誰に会ったのか。

ア男が修行者に会った。  
イ修行者が男に会った。

(二) 古文における「修行者」の読み  
は？

アしゆぎようしゃ イすぎようしゃ  
ウしゆぎようざ エすぎようざ

文14 宇津の山にいたりて、<sup>①</sup>わが入  
ら<sup>②</sup>むとする道は<sup>③</sup>いと<sup>④</sup>暗う<sup>⑤</sup>  
細きに、<sup>⑥</sup>蔦・楓は茂り、もの心  
細く、<sup>⑦</sup>すずろなる目を見るこ  
とと<sup>⑧</sup>思ふに、<sup>⑧</sup>修行者会ひた  
り。

## 問七 傍線部⑧について

(3) この中の「たり」は完了の助動  
詞「たり」で、完了の助動詞  
「り」と同様、次の二つの意味  
を持つ。ここではどちら？

ア完了（～してしまった・～た）

※～の瞬間に注目

イ存続（～ている・～てある）

※～の後の状態に注目

このページは空白ページです